

第3回京都府新型インフルエンザ等対策有識者会議 開催結果

- 1 日 時 : 令和7年1月22日(水) 午後1時30分～午後2時40分
- 2 場 所 : 京都府庁1号館6階 危機管理センター会議室
- 3 出席者 : 委員15名中14名(代理1名含む)が出席
代理(京都府市長会 宇治市健康長寿部 須原課長)
欠席(若林委員)

4 内 容 :

- ・開会に際し、南本危機管理監が挨拶
- ・次第に従い、
 - (1) 新型インフルエンザ等対策行動計画(最終案)について
→資料1～4に基づいて、事務局から一括して説明後、意見交換。

【主な発言】 ○委員 ●府事務局

○内容的には問題ないと思うが、新型インフルは10年から40年のスパンで起こりうると記載されている。直近はコロナという形で流行したが、10年スパンぐらいで起こる可能性もある。この行動計画に関して、平時(準備期)から初動期、対応期という順番ができたが、今後は平時(準備期)の状態が続く可能性の方が高い。先程示された発生後のイメージ図が非常にわかりやすかったので、平時(準備期)だけのものをまとめて作っておくと、それぞれの医療機関には、便利と思われる。

○特に大きな異論はなく、細かいことで恐縮だが、資料1の10ページでは、第1回の会議での意見に対して、物資等の備蓄・配置状況を定期的に確認すると記載されているが、計画案の117ページの1-3にも、「定期的」と記載してはどうか。

○いろいろな事柄について詳細を記載いただいて有難かった。以前発言があった修学旅行生や外国人についての記載はされたのか。

●第6章まん延防止において、観光施設、観光関係団体の連絡体制を整備し、観光旅行者への正確な情報提供に努めると記載している。また、コロナ禍の実績を踏まえ、協定の締結を進めて宿泊療養施設の確保を行っているが、宿泊事業者との調整にあたっては、予め外国人旅行者や修学旅行生への対応も必要であることに留意するよう記載している。その他にも、様々な箇所で、高齢者や子供に加え、外国人の方に向けた情報発信についても留意することを記載している。

○病床の確保の件で、新たな地域医療構想が作られ、病院の機能の見直し、救急医療、高齢者医療の対策が挙げられているが、感染症については入っていない。今後、病床の確保の際の手続について詳しく分かれば教えてほしい

- 基本的人権の尊重の観点から、計画本文に記載いただき有難い。パブリックコメントにあった、ワクチン未接種者に差別的取扱いがないようにとの意見に対して文言を追記いただいたことは大変良かった。また、計画案の79ページに基本的人権の尊重の観点からという文言を加えていただいても良いのではないか。
- 最近では逆にワクチンを接種した方にも差別・偏見がある。接種の有無に関わらずといった記載はいかがか。
- 福祉施設等の位置付けを加味していただいて感謝する。他の委員からも発言があったが、平時からの感染対策について、地域によって状況が異なり施設によっても差があるので、保健所単位で引き続き伴走支援いただきたい。また、「施設等」、「学校等」との表記があるが、自分の施設がどこに当てはまるのかについて説明会や資料で触れていただきたい。
- 2回の議論での各委員からの意見を非常に良く取りまとめていただき有難い。来年度は各市町村の行動計画の策定となる。各委員からの意見や国の行動計画との違いを府内の市町村に伝えていただき、齟齬のない計画作りについて連携願いたい。また、行動計画なので自治体としての動きを中心に記載しているが、府民・市民のそれぞれに知っていただく必要がある。住民にわかりやすく知っていただけるよう努める必要があると考える。
- コロナ禍の事業者への支援は大変有難かったが、逆差別となった例もあった。事業者を支援するために必要な財政上の措置等を公平性にも留意し、効果的に講じると書いてあるので、しっかり守っていただきたい。また、計画案128ページには事業継続に関する事業者への要請等について記載があるが、平時からの問題でもあると考える。
- 平時からの人材の確保、府や市町村との訓練等について充実を図っていただきたい。
- 町村の接種体制を補完する取り組みの検討など、具体的に内容を盛り込んでいただいて有難い。町村は住民に一番近いので、いかに正確な情報を発信するかが大事と考える。来年度は市町村の計画づくりとなるが、京都府からの助言をお願いしたい。また、コロナの経験を生かしてこの計画に基づいて人材の確保、対策の体制について、日頃から連携していただきたい。
- 大変短い時間で素晴らしい計画を作ってください敬意を表したい。計画の内容というより実施にあたってのお願いを申し上げる。とある著書で「正確な情報より捏造された物語を信じる若者が非常に多い。」と指摘されていた。偏見・差別等や偽・誤情報への対応実施にあたっては、そのような情報が見られる場合には、なるべく速やかに積極的に正しい情報を提供いただければ有難い。また、基本的人権の尊重に関して、本文中の用語の変更が難しいことは承知しているが、社会的弱者にはDV被害者も含まれると考えるのでそれも踏まえて対応いただきたい。最後に、ワクチンに関する差別的な取扱いに対する御指摘について「また、接種の有無に関わらず、差別的な取扱いをしてはならないことについて、

府民・事業者等に広く周知を図る。」と修文すれば解決できるのではないか。

○本当に非常に細かいところまで検討されて、素晴らしい内容である。我々一般事業者としては、情報はマスコミから入ってくることが多い。平常時の取扱いは情報を得にくいので、何らかの形で情報が出てくれると有難い。

○平時から医療関係に限らず、どこの職場でもいわゆる健康教育的なことを進めていくことが必要と感じた。